



注意

## 電池は正しく使う



禁止

破裂や液もれにより、火災やけが、周囲を汚染する原因となることがあります。

- 指定以外の電池は、使用しないでください。
- 充電・分解・加熱をする、火や水の中に入れる、金属物と接触させるなどしないでください。
- 著しく温度が高くなる場所(直射日光のあたるところ、ヒーターの近く、窓を閉め切った車や車のトランクの中など)に、電池や電池の入ったリモコンなどを放置しないでください。



- 電池の⊕と⊖を、電池ケースの表示に合わせて入れてください。
- 使い切った電池は、すぐに交換してください。
- リモコンを長時間使用しないときは、電池を取り出しておいてください。
- 電池を保管するときは、テープなどで絶縁してください。

## 電池を廃棄する場合は

各自治体の指示(地域の条例)に従って処理してください。

## 電池の液もれが発生した場合の処理について

- 電池ケースについた液をよく拭き取ってから、新しい電池を入れてください。
- 液が身体や衣服に付着したときは、きれいな水でよく洗い流してください。
- 万一、目に入ったときは、こすらずにきれいな水で洗い流したあと、すぐに医師にご相談ください。

## 取り扱いについて

- デジタル放送では受信状態が悪くなると、映像のブロックノイズ、音声途切れの発生や静止画面、黒画面となり音声が出なくなることがあります。
- 車で移動して受信するため、家庭用に比べて受信可能エリアが狭くなります。また、車の場所や方向、速度などにより受信状態が変化します。
- 本機の受信周波数帯域に相当する周波数を用いた携帯電話などの機器を、本機やアンテナケーブルに近づけると、その影響で映像・音声などに不具合が生じる場合があります。それらの機器とは離してご使用ください。
- コピーガードがかかっている番組は録画機器を経由してテレビで視聴すると正常に受信できない場合があります。コピーガードがかかっている番組を視聴する場合は、録画機器を経由しないで直接、本機とテレビを接続してください。

## 設置について

- 次のところには、取り付けしないでください。  
水のかかるところ、足でふまれるところ、およびヒーターのダクトなど温風の近くや、カーペットの下などの熱がこもるところ、直射日光のあたるところ。
- 本機の通風孔をふさがない水平な場所に設置してください。  
逆さや縦向きには設置しないでください。
- リモコン受信部をフロントガラスや保安部品\*の動作および確認を妨げる場所に設置しないでください。  
これらの場所にリモコン受信部を設置すると、保安基準に適合できません。  
※バックミラー、計器類、ホーンボタン、エアバックなど。

## B-CAS カードの取り扱い

- B-CAS カードを挿入しないとデジタル放送の受信ができません。
- ダッシュボードの上など、高温になるところにカードを放置しないでください。
- 使用許諾契約約款をよくお読みの上、使用者ご自身でパッケージを開封し、カードを機器に正しく挿入してください。
- 同梱のB-CAS カードは地上デジタル専用です。BS/110度CS デジタル放送対応受信機には使用しないでください。
- 盗難防止のため、車から離れる際はB-CASカードを本機から抜き、車内に残さないようにすることをおすすめします。